

一般社団法人木の花会 この花ナーサリ

令和6年度

保育所自己評価

令和6年度 この花ナーサリ 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
保育 理念	園の保育方針を理解している	11	12	1	0	
	すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重している	17	6	0	0	
	一人ひとりのありのままの姿を受け入れることが出来る	10	13	0	0	

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
保育 計画	園の保育方針・全体的計画を理解して、保育計画を立てている	6	7	2	0	
	担任間で話し合って、保育目標を立てている	10	4	0	1	
	各年齢の発達段階に合わせて、保育計画を立てている	11	2	1	1	
	必要に応じて保育計画の見直しを行っている	7	5	2	1	

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
保育 実践	園の保育方針を理解し、実践しようと努めている	10	12	1	0	やろうとしているが、出来ない時もあったりすることがある
	年間保育計画を意識して保育に取り組んでいる	11	4	5	0	
	『目指す子どもの姿』を実現できるよう保育に取り組んでいる	10	9	1	0	

令和6年度 この花ナーサリ 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
保育 内容	保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。	8	10	3	0	
	子ども一人一人の思いを受け止めその思いをできるだけ実現させようと努めている。	6	14	2	0	時々受け止めきれないことがある
	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている	9	6	5	1	物が多くなり、きたなくなる時もある

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
子どもとの 関わり	一人ひとりの子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている	5	14	3	0	
	一人ひとりの子どもの話を聞き、丁寧に関わっている	6	12	5	0	場合によっては待たせてしまう事もある
	特定の子どものみを特別扱いしていない	16	6	1	0	皆、平等にしている
	叱るときに大きな声を出したり威圧的な態度をとったりしていない	5	13	5	0	元々の声が大い為、「あっ！」となった時に少し大きくなる事がある
	相手の立場に立って物事を考えることができるよう子どもが考える機会を作っている	9	11	2	1	

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
環境 づくり	子どもの発達や興味を促すための環境づくりを心がけている	7	10	5	0	
	玩具・遊具については必要に応じて消毒したり、衛生面に配慮する	11	9	4	0	やろうと思っていてもできていない事もある
	玩具・遊具については壊れたものや危険なものがないか注意して確認している	15	9	0	0	壊れた物は捨てるように心がけてきた

令和6年度 この花ナースリ 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
健康 支援	子どもの日々の健康状態を把握し、一人一人の体調を把握した上で保育を行っている	15	3	3	0	職員同士で状態を確認しながら行っている
	子どもの体調不良や怪我等の情報を園長・主任に報告している	10	8	1	0	ほうれんそうがもっと必要だった
	子どもの体調不良や怪我・アレルギー等の情報を職員間で共有している	14	7	0	0	
	感染症予防の為、常に換気を行っている	15	6	1	0	
	保育室が暑すぎたり寒すぎたりしないよう室内の温度を適宜確認・調節している	11	9	2	0	室温・温度計は見るようにしている

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
食事	食事の前の手洗い・手指の消毒を行っている	13	8	1	0	
	子どもが主体的に食事ができるよう配慮している（食べる順番等を強制していない）	13	8	1	0	残したいのか、食べたいのかを言わない子に対して、少し強い口調になることがある
	偏食がある子どもに無理に食べさせようとしたり叱ったりしていない	10	11	1	0	
	食事がすすまない子どもに無理に食べさせようとしたり叱ったりしていない	9	12	1	0	一口は頑張ってみるように声掛けはしている
	食事の時間が子ども達にとって楽しい時間となるよう配慮している	12	9	1	0	
	時にはいつもと違う場所で食べるなどの工夫を行っている	7	7	4	4	

令和6年度 この花ナーサリ 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
保護者対応	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	10	10	0	0	信頼関係が築けるように心がけている
	送迎時には保護者へ子どもの姿・様子を伝えている	8	8	1	0	出来ていないことが多い気がする
	保護者に子どもの良いところや課題を伝えるなど連携をとっている	9	7	0	1	
	怪我等があった際には真摯な態度で謝罪し丁寧な状況説明を行っている	12	4	1	0	
	常に平等に保護者に接している （保護者によって対応を変えていない）	13	4	0	2	

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
事故防止・安全対策	園庭や園外保育では常に死角や危険な場所を事前に把握しポジションについている	7	13	2	0	常に全体を見ながら保育をするよう心掛けている
	園庭等では職員が1か所に固まることがないように、分散しての見守りを意識している	7	14	1	0	
	子ども達へ危険な場所や行動について事前に伝え注意を促している	10	9	2	0	
	子ども達が屋外へ出ることがないように門扉等が開いていないか常に注意している	14	9	0	0	
	遊具の安全点検を行い破損・不具合の箇所は、必要に応じて対策をとっている	8	11	3	0	

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
保育の反省と評価	行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している	6	8	3	0	
	保育計画については計画の区切りの時期に適切に反省と評価を行っている	6	6	2	1	忘れてしまう事があった
	年度末には1年間の振り返りを行い、自身の保育内容の反省・評価を行っている	6	9	3	0	

令和6年度 この花ナースリ 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
職員の 資質 向上	保育に関わる知識や技術の向上に日頃から努めている	4	13	4	0	
	保育士の人間性が子どもに大きな影響を与えることを自覚して、研鑽に励んでいる	7	12	1	0	心掛けてはいるが出来ていない時が多々あるかも
	園の内外における研修に積極的に参加している	3	10	2	1	

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
事務 管理 ・ 運用	個人記録簿や各種書類は適切に記載し、整理保管ができています	8	6	1	0	
	電話対応は丁寧な言葉で対応し、必要に応じてメモを取り園長・主任に報告している	11	4	0	0	
	保育園の買い物等の際には、事前に園長・主任に相談している	10	4	1	1	
	保育園の買い物等の際には、遅くとも翌日までに領収書の提出を行っている	10	6	0	1	

項 目	内 容	A	B	C	D	コメント
保育園の 組織 ・ 役割 分担	職場内での連携がとれるよう意識している	12	11	1	0	
	自身が任せられた業務は責任感をもってこなしている	13	10	1	0	
	園内で知りえた事柄に対しての守秘義務は徹底できている	18	6	0	0	
	園長・主任への「ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）」ができています	8	11	3	0	
	職員間での「ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）」ができています	9	13	1	0	
	職員会議等で必要に応じて質問や自分の意見を言うことができています	4	8	5	2	

令和6年度 この花ナーサリ 保育所自己評価

総合評価

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

保育理念		保育計画		保育実践		保育内容		子どもとの関わり	
評価	A	評価	A	評価	B	評価	B	評価	B

環境づくり		健康支援		食事		保護者対応		事故防止・安全対策	
評価	B	評価	A	評価	A	評価	B	評価	B

保育の反省と評価		職員の資質向上		事務管理・運用		保育園の組織・役割分担	
評価	B	評価	B	評価	A	評価	B

まとめ

令和6年度 保育所自己評価のまとめ

令和6年度を振り返ってみるとコロナ禍も明け、通常通りの保育を行うことができるようになったと思う。

令和5年度の反省を生かす為、今年度よりこれまで毎年行ってきた「夕涼み会」「運動会」「発表会」の3大行事を、「運動会」と「発表会」に関しては交互に行う隔年開催とすることで年間に行う大きな行事を3つから2つに減らし、保育士の負担軽減を行った。
しかしながら引き続き通常業務での負担軽減も検討していく必要性も感じた。

保育士一人一人の自己評価を見ていくと令和5年度に比べて自己評価が低くなっている傾向が見られた。特にコロナ禍では当たり前に行っていた、玩具・遊具の消毒作業や衛生面がしっかりとできていなかったと感じている職員が多い。引き続き子ども達の安心・安全な環境作りの為にも衛生面の徹底は全体で周知・共有していきたいと感じた。

保育理念については昨年度のB評価からA評価へと改善しており、少しずつだが園の保育方針が職員間で浸透してきていると感じた。

引き続き令和6年度の評価をもとに令和7年度もより良い保育が行えるよう試行錯誤しながら保育業を行っていききたいと思う。